

平成29年度第2回浦安市子ども・子育て会議議事録

1 開催日時 平成29年12月1日（金） 18：30～20：00

2 開催場所 浦安市文化会館 3階 中会議室

3 出席者

（委員）大日向会長、新藤委員、男全委員、佐々木委員、田村委員、松田委員、
中島委員、谷口委員、金子委員、上内委員、大塚委員

（欠席委員）柏女委員、吉田委員、丸山委員、田原委員

（事務局）こども部 岡本部長、本田次長

こども課 三代川課長、早川課長補佐、並木室長、
峯崎係長、山田、木戸口

保育幼稚園課 熊川課長、今野課長補佐、関口係長

青少年課 平林課長補佐、飯塚係長、石井係長

東野児童センター 河野所長

こども家庭支援センター 藤平所長

こども発達センター 河林所長

4 議事

1) 浦安市子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査の報告について（速報）

①実施状況について（資料2-1-1）

②中間報告速報値（資料2-1-2）

2) 浦安市子ども・子育て支援総合計画の見直しイメージについて（資料2-2-1）

3) 認可保育園の新規開設施設について（資料2-3-1）

4) その他

（議事概要）

1. 開会

事務局 : 本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

定刻になりましたので平成29年度第2回浦安市子ども・子育て会議を開催させていただきます。

本日は、委員15名のうち11名の委員の出席があり、浦安市子ども・子育て会議条例第5条第2項の規定により過半数を超える出席がありましたので、本日の会議が成立していることを報告いたします。

今回の議事について、10月12日付けで会議の開催通知を差上げた際には、人口推計速報値の報告を行う予定でしたが、企画政策課から集計作業中につき、今回の会議での報告が難しいとの連絡を受けましたので、次回

以降に繰り延べさせていただきます。

次に、配布資料の確認をさせていただきます。当日の追加資料として、資料 2-3-1「認可保育園の新規開設施設について」を新たに配布させていただいております。

お手元の次第に沿って進めさせていただきますが、その前に情報公開につきましてご案内いたします。

～ 情報公開についての説明 ～

また、前回会議で、本会議の副会長に柏女委員の推薦がありました。事務局から柏女委員に皆さまの総意をお伝えしたところ、ご快諾いただきましたことを報告いたします。

それではこれから議事に移ります。

会長 : お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。それでは、議事を進めたいと思います。本日の議事は4つございます。まずは議事1「浦安市子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査の報告（速報）」について、事務局からご説明をお願いいたします。

2. 議事1：浦安市子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査の報告について（速報）

事務局 : 子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査の報告について説明させていただきます。説明が長くなりますので途中で分けて、質疑の時間を設けたいと思います。

～ 事務局 説明（前半） ～

会長 : 事務局から基礎調査の前半部分についてご説明いただきました。何かご意見ご質問等はございますか。

委員 : 小学5・6年生本人の調査は学校で実施したので、100%の回収率は無理だとしても、もっと100%近い数値になるはずではないですか。半月近いアンケート実施期間で1校あたり10人程度の非回答者がいることに疑問を感じます。これだけの不登校児童がいるとも考えられないのですが。

会長 : 小学5、6年生へのアンケート実施方法、回収方法について、ご説明いただけますか。

事務局 : 調査の実施については、アンケート票を直接学校に持参しています。調査の実施は各学校、各クラスの担任の先生に委ねました。

委員 : 31ページの児童育成クラブの6年生まで利用できる場合の意向等について、5年生と6年生の学年別の数値はありますか。

事務局 : 今回は単純集計値のみの報告になります。属性等でのクロス集計についてはこれから実施しますので、次回の会議で報告させていただきます。

委員 : 14、18 ページで幼稚園とありますが、私立と公立とに分けて質問していますか。保育園については分類をしてあるので、幼稚園についても分けるべきかと思いますが。

事務局 : 幼稚園については私立・公立別には質問していません。

委員 : 16 ページ「定期的に教育・保育事業を利用していない理由」で、「利用する必要がない(子どもの教育のためなどの理由)」とありますが、これは「教育をする必要がない」ということなのか、または「子どもがまだ小さいから教育をするに至らない」ということなのか、どのように理解をしたらいいのかというのが1点目です。2点目として「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」が9.6%、回収数が600程度なので約60人が利用したいが利用できない状況にあると回答しています。この9.6%という数値について、どう捉えていますか。

事務局 : ご指摘ありがとうございます。本日は中間報告ですので、詳細な分析までできておりませんので、次回お答えします。

会長 : 21 ページの小学校入学後の放課後の過ごし方について。前回と今回の傾向は同じですが、数値があまりにも異なっています。今回の調査での属性を見ると共働きが増えているにも関わらず「自宅」で過ごすという数値が前回の2倍以上に増えています。この点について分かることはありますか。

事務局 : 改めて数値等については確認させていただきます。

会長 : 集計は中間段階なので、これから詳細を詰めていただければと思います。引き続き後半のご説明をよろしくお願いいたします。

～ 事務局 説明(後半) ～

会長 : 事務局から基礎調査の後半部分についてご説明いただきました。何かご意見ご質問等がございますか。

委員 : 61 ページの「食事を一人で食べることがありますか」について。一人とは、他に誰もいない状況でしょうか。それとも、家に家族はいるけれども食事は一人で食べている状況なのでしょうか。

事務局 : 特に厳密には限定しておりませんが、家に家族はいるけれども一人で食べている状況も含めて「一人で食べることがある」としています。

委員 : 61 ページ以降の小学5、6年生本人の状況について。本人の声を聞くことは大切ですが、これらの声を具体的にどのように施策へ繋げるのでしょうか。将来の夢や目標の有無を聞いて、事業や学校教育等で反映するイメー

ジを教えてください。

事務局 : 例えば「食事の状況」という設問については、児童の孤食状況を把握する設問だと考えており、分析の結果次第では浦安市として課題と捉えて対策を立てる必要があると考えています。その他、「近くにあったらいいと思う遊び場・施設」等についても、児童のニーズなどを捉え対策を立てるかどうかを判断するためにアンケート項目に入れています。

委員 : 食事の状況や施設については分かりやすいのですが、「友だちとのつきあい」、「悩んでいること」、「地域の大人への希望」、「将来の夢や目標の有無」など、施策に結びつきにくいと思われる設問があります。

会長 : 前回調査では、施策に結びつかないような子どもの心の中を聞く設問が多くありましたが、今回はかなりセレクトされていると思います。子どもの悩みについては、こども 110 番や地域の中の相談施策の充実に繋げる必要があるのではないのでしょうか。また、夢や目標については、子ども向けのイベントなどの工夫へ繋げることが可能な設問ではないかと理解しています。

委員 : 61 ページの孤食について、一人で食べる児童が何を食べているのかの設問についての集計結果が今回の資料には掲載されていませんが、集計ができていたのであれば、どのような状況になっているのか教えてください。

事務局 : 「親がつくった食事」との回答が約 80% で一番多く、「親が買ってきたお弁当やお総菜」は約 30%、「自分で作った食事」や「自分で買ってきたお弁当やお総菜など」との回答がそれぞれ 13~15% となっています。この「自分で～」といった回答が 1 割強もあるので、少し課題ではないかと感じています。

会長 : 特にご質問ご意見がないようでしたら、次の議事に移りたいと思います。

3. 議事 2 : 浦安市子ども・子育て支援総合計画の見直しイメージについて

～ 事務局 説明 ～

会長 : ただいまのご説明につきまして、ご意見ご質問等ございますか。

委員 : 第 4 章の重点施策において、社会課題になっている「待機児童ゼロを目指します」を入れることは馴染まないのでしょうか。

事務局 : 子ども・子育て支援総合計画ですので、待機児童についても重要課題として認識しておりますが、基本理念や重点施策では保育のことだけでなく子育て全般について掲げています。

会長 : 待機児童ゼロを大きく掲げている自治体もありますが、待機児対策だけで

はない、幅広い支援を総合計画 18 ページ（第 4 章 重点施策）にある「切れ目のない支援を行い、すべての子どもの最善の利益を実現するために」として唱っていて、切れ目のない支援として実施する施策（ケアプラン作成、産前・産後サポート事業等）は浦安市が全国に先駆けて実施した事業で、全国的なモデルとなっています。

委員 : もちろん、切れ目のない支援を実施しているということは理解しているのですが、アンケート結果でもあるように 9.6%が入りたくても入れないと回答しています。社会課題になっている「待機児童ゼロ」を重点施策の 4 番目としてあげなくとも、そこの部分にチャレンジしていく、意気込みが見えるかたちにしても良いかと思います。

会長 : 「待機児童ゼロ」をなぜ掲げないのか、という質問ですけれどもいかがでしょうか。

事務局 : 今回は中間の見直しとして簡易版の計画書冊子を作成する予定です。基本方針も現行計画の方針を踏襲します。待機児童対策については、そもそも市の大きな重点課題だと捉えています。重点施策については基本的に変更せず、個別の事業において見直す方針です。

事務局 : 現行計画の第 5 章子ども・子育て支援事業計画は全国的に計画の策定と見直しが必要となっています。ここで個別の事業の量の見込みを推計し、計画に掲載します。計画上は待機児童ゼロを目指します。

委員 : 計画上の話は分かりましたが、実態はどのようになっているのでしょうか。

事務局 : 子育て施策の充実を図ると子育て期の転入者が増加する状況が続くので、毎年度の待機児童数に合わせて対応に取り組んでいます。

会長 : ほかにご意見がないようですので、議事 3 「認可保育園の新規開所施設について」に移りたいと思います。

4. 議事 3 : 認可保育園の新規開所施設について

～ 事務局 説明 ～

会長 : 只今、事務局から認可保育園の新規開所施設についてご説明いただきましたが、このことについてご意見等ございませんか。

委員 : 新設に関しての意見ではありませんが、浦安市は 3～5 歳の待機児童はゼロで、0～2 歳の待機児童がいるという状況で、世田谷区と同じです。何か対応策があればいいと思いますが。

事務局 : ご指摘のとおり、浦安市では 0～3 歳までで待機児童が発生しているので、

小規模保育所の開設等によって対応していきたいと考えています。

委員 : 今後、平成 31 年度までの間、保育園の開設予定はどの程度ありますか。

事務局 : 平成 30 年度は認可保育園 3 園、年度途中で 1 園が開設を予定しています。平成 31 年度については、事業所から話はいただいておりますが、未定です。確定したら報告いたします。

5. 議事 4 : その他について

会長 : それでは最後になります。議事 4 「その他について」です。事務局から説明をお願いします。

事務局 : 今後の会議スケジュールについて。第 3 回浦安市子ども・子育て会議は平成 30 年 2 月上旬に開催予定です。次回は浦安市子ども・子育て支援総合計画の見直し案、教育・保育量の見込み案、その他について説明させていただき、ご検討をお願いする予定です。

会長 : 次回の日程につきまして、ご意見がございますか。
以上で、本日予定した議事は全て終了となりますが、ご意見ご質問はございますか。

それでは、本日の会議につきましてはこれで終了させていただきます。委員の皆さまにつきましては今後もお協力をお願いいたします。年内これが最後だと思っておりますので、少し早いですが、どうぞ良いお年をお迎え下さいませ。ありがとうございました。